

## 2021年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	文化スポーツ課
施設名	須坂市勤労青少年ホーム創造の家		
所在地	須坂市臥竜六丁目25番1号		
施設設置目的	勤労青少年及び市民の学習、交流、余暇活動の場を提供することにより市民福祉の増進に資するため		
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 912.34㎡ 軽運動室99㎡、料理実習室50㎡、音楽室45㎡、創造の家事務室17㎡、 スポーツ協会事務室(相談室)28㎡、講習室80㎡、会議室45㎡、 集会室(1)64㎡、集会室(2)42㎡、談話コーナー ※スポーツ振興係事務室(図書室)35㎡は指定管理の対象外		
建設年月	1979年2月	指定管理 開始年月	2020年4月

## 【指定管理概要】

指定管理者名	一般社団法人須坂市スポーツ協会
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日まで(5年間)
業務内容	(1) 施設の管理及び運営に関する業務 (2) 施設等の維持管理に関すること (3) 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 勤労青少年の保護及び福祉の増進を図るため実施する事業に関する業務
職員体制	常勤:4名 合計:4名
(専門職、役職等内訳)	事務局長兼創造の家館長、事務局次長、書記2名(専任1名、兼任1名)

## 1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2019年度	2020年度	2021年度		
	人	—	10,329	3,438	3,858	112.2%	
特記事項	○ 令和3年度は、第4波、第5波、第6波と新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けたが、須坂市が実施した軽運動室の床張り替え工事により使い勝手が改善され、新規利用者が加わった事等により、利用者数は回復傾向となった。						

## 2 収支の状況

単位:千円

指定管理者			市				
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額		
収入	指定管理料	11,300	10,882	収入	使用料・手数料		
	使用料・手数料	288	299				
	参加料	534	258				
	雑収入	75	55				
					その他		
収入計	12,197	11,494	収入計				
支出	人件費	5,594	5,590	支出	指定管理料	11,863	10,882
	需用費	2,704	2,686		修繕費	1,471	1,232
	役務費	2,121	1,852		備品購入費	547	546
	使用料及び賃借料	251	248				
	報償費	1,505	958				
	旅費	22	6		その他		
	支出計	12,197	11,340		支出計	13,881	12,660
管理事業損益 (a)	0	154	管理事業損益	-13,881	-12,660		

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	154
---------------------------------	-----

特記事項	○ 大幅な減額科目は、役務費、報償費であり、コロナ禍における事業量の減少、施設休止等に伴う減額である。
------	---

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	<p><b>令和3年度 結婚支援事業</b></p> <p>◎ <b>アウトドアで恋活・婚活 in Souzou DAY CAMP体験</b></p> <p>○ この事業は、須坂市の少子化対策の一助とするため、結婚を希望する独身者に会いと交流の場を提供し、地域貢献を図る目的で、創造の家の開放的な松林のロケーションを活用し、12月4日、11日の2日間に渡り開催した。参加した若者が、タープ設営、パラコードのロープワーク・アクセサリづくり、火起こし等、DAY CAMPの醍醐味を楽しく学ぶ中で交流している姿が印象的だった。また参加者からは、「初めは緊張したけど、協力し合ったり教え合いながら1つの事をしたので会話が弾んだ。またイベントがあったら参加したい」と嬉しい感想もあった。</p> <p>● 参加者 13人 男:7人 女:6人 参加延べ人数 20名</p> <p><b>令和3年度 須坂市スポーツ協会シニア等一般対象事業</b></p> <p>◎ <b>市民健康教室</b></p> <p>○ 前期教室6教室(卓球、ゴルフ、マレット、太極拳、イスでストレッチ、タイ式ヨガでリラックス)を5月13日から8月28日まで全56回を開催した。卓球教室は新型コロナウイルス感染拡大(第5波)により、市内体育施設が利用休止(9月3日から9月12日)となった為、9月4日、11日の2回を中止とした。また新規教室として、仕事終わりの午後4時から実施の「タイ式ヨガでリラックス」、夜間に働くシニア世代をターゲットとして実施した「太極拳教室」等、新しい時間帯での取り組みも大好評であった。</p> <p>● 受講生 57人 男:20人 女:37人 参加延べ人数 466人</p> <p>○ 後期教室全2教室(100歳まで動ける体づくり、疲れを一掃 不調改善ヨガ)を9月29日から12月8日まで全10回を開催した。健康で快適に日々を過ごし健康長寿につなげ、コロナ禍で蓄積した心身のストレスや運動不足解消を目的に、2教室を続けて受講された方も多く、改めて健康への関心の高さが感じられた。</p> <p>● 受講生 14人 男:2人 女:12人 参加延べ人数 58人</p> <p>◎ <b>BBQ交流会、創造の家秋のフェスティバル、Winter Party</b></p> <p>○ BBQ交流会、第7回創造の家秋のフェスティバル、第7回Suzaka Souzou Winter Partyは、新型コロナウイルス感染症拡大の中、開催について検討した結果中止とした。</p>
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
アウトドアで恋活・婚活 in Souzou DAY CAMP体験	73	73	消耗品費等
市民健康教室	442	442	報償費等
合計	515	515	自主事業損益(b)
			0

#### 4 利用者評価

<p>①利用者要望の把握</p>	<p>(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時期・・・随時</li> <li>○ 方法・・・施設利用者から直接聞き取り調査をし、所定のアンケート用紙に記入</li> <li>○ 年2回の管理施設専門委員会(委員5名全員が施設利用者)における意見聴取</li> </ul> <p>(2) 調査等の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設利用手続き、職員対応に関する苦情はなかった。</li> </ul>
<p>②利用者からの声</p>	<p>(1)良好とする評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員の皆さんが親切に対応してくれ、来館し易かった。また、施設使用料が安くて嬉しい。</li> <li>○ 施設の清掃(特にトイレ)が行き届いており、利用に満足している。</li> <li>○ 軽運動室の床が張り替えられ使い勝手が良い。</li> <li>○ 職員方々の伝達事項等で、よくコミュニケーションが図られており、気持ちよく利用できている。</li> <li>○ 年に2回程の管理施設専門委員会の開催は大切な事だと思う。、また、委員会での全ての質問等にお答えいただき嬉しく思う。</li> <li>○ コロナ禍の施設利用について、体温測定・消毒等こまめに配慮されており、気持が良い。</li> <li>○ 普通に利用し易い施設になっている。サークル活動で人脈が広がり、人間関係が良くなった。</li> <li>○ 床が綺麗になり、エアロビが踊りやすくなった。チラシを置いてもらって良かった。</li> <li>○ 施設内が整理・整頓されスッキリした。</li> </ul> <p>(2) 苦情・改善の要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サークルのPRができる、SNSやイベントがあればありがたい。</li> <li>○ 卓球サークル活動の折、壁際に長テーブルを設置してほしい。(荷物置きに利用したい)</li> <li>○ 軽運動室の壁全体に鏡が欲しい。</li> </ul>
<p>③対応措置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サークルのPRができるSNSやイベントについて、HPでサークルページが作成可能か検討していきたい。</li> <li>○ 卓球サークルの長テーブル設置について、要望通り設置しました。</li> </ul>

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	2
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	3
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	◎	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	◎	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	◎	
		施設の備品を適切に管理しているか	◎	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	◎	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	◎	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	◎	3
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点	17 点
総合評価	A

**評点**  
 ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点  
 ・各項目の評価がすべて○…2点  
 ・各項目の評価に△があり、×はない…1点  
 ・各項目の評価に×がある…0点  
**総合評価**  
 A (優れている) 合計15点以上  
 B (適正) 合計14点  
 B' (若干の改善が必要) 合計11点～13点  
 C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

**評価基準**  
 ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。  
 ○ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。  
 △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。  
 × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。  
 市の指導を受けても改善が図られない。  
 — … 該当する取り組みなし。

## 6 指定管理者による自己評価

### (1) 施設利用者数について

須坂市スポーツ協会が、創造の家指定管理業務を受託して、令和4年3月末で7年が経過する。この間の施設利用者数を概観すると、第一期目の5年間は、平成27年度9,344人、平成28年度10,121人、平成29年度9,763人、平成30年度10,423人、令和元年度10,329人と、順調に推移して来た。平成30年度の施設利用者数は、市が施設を直営管理していた平成26年度の6,414人と比べ、1.63倍となっていた。一方、第二期の2年間は、コロナ禍の影響を大きく受けた2年間となっている。令和3年度の利用者数は、1ページ記載のとおり3,858人と令和2年度対比112.2%となっているが、コロナ禍前の令和元年度の4割にも満たない数字となっている。ただ、コロナ禍に伴う休館日数は、令和2年度の27日間と比べ、令和3年度は55日間と28日多いにも関わらず、利用者数はやや増加となっている。これは、市による施設改良工事(軽運動室床張り替え)に伴う使い勝手の向上と、安全・安心な利用のために、毎朝30分かけて全職員で取り組んでいる、全館設備・備品の消毒による安心感、利用者の立場に立った丁寧な窓口対応が回復の一助になっているものと思われる。

### (2) 今後の課題について

まずは、大幅に減少した施設利用者を回復することであるが、施設管理業務と事業推進・運營業務の基本目標に沿って運営をして行くことが大事である。今後も、①施設利用者が常に安全・安心・快適(気持ち良く)に施設を利用できる環境を整備すること。②利用者満足度を向上させ、利用者の拡大・利用率向上させることの2つの目標を念頭に、施設の適切な管理・運営に努めたい。

### (3) 次年度以降の取り組みについては、以下の対策を講じながら適切に管理運営を行っていききたい。

① 40年を超える若者事業のノウハウを活かし、婚活事業を継続、発展させることにより、更に地域社会に貢献すること

② 今まで創造の家を利用している既存の利用者への対応(職員が笑顔で接客・対応をする、各部屋のこまめな清掃・消毒を行い、安心・安全に施設利用していただく為の施設管理)を更に心がけ、また新規利用者の開拓のための広報等(HPでの誘客、施設利用用途の拡充等)を充実させること。

③ 主催事業の勤労青少年対象のニーズにあった新規教室を立ち上げ、より多くの若者に受講者またサークル参加者として利用いただくこと。

④ 自主事業で多くの一般市民の方々に施設を知ってもらい利用いただく為に、より魅力のあるイベント、教室等(秋のフェスティバル、健康教室、若者の出会いのイベント等)を開催すること。

## 7 市による総合評価

### (1) 今年度の取り組みに対する総合評価

施設の管理状況は概ね良好

施設の修繕箇所についての連絡、業者対応等、迅速丁寧な対応報告がされている。

コロナ対策を十分実施していただき、コロナ禍であっても利用者数が増加傾向となった。